

●しゃらくかい
写楽同会

平成30年5月31日 029
投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com
© 2018 Sharakukai

千泉さん出題「建物」の皐月5月号をお送りします。

写真俳句



1 由緒ある宿に背向けし黄水仙



2 伽藍蒼く緑青の錆さみだるる

名刹・護国寺にて

編集注とお詫び：

「金へんに青」の「さび」が出せません。
作品を正としてご鑑賞ください。



3 テント村梅雨風陽から人護る



3 駆けろ青あらし駅は恐竜の腹

築150余年の駅舎の屋根が肋骨のように見えました。青葉が茂る頃に吹く強い風が「青あらし」です。



ひじかわ いほり

4 肱川の庵溶け込む青時雨

愛媛県大洲に流れる肱川の崖上にせり出して造られた不老庵。お薦めスポットです。



5 フィヨルドに風は薫りてスターヴや

ノルウエーの「Borgund Stave Church」です。女の子に人気のある映画「アナと雪の女王」のエルサのお城のモデルとされています。本来ならスターヴ教会としないといけませんが、字余りのためスターヴとしました。



6 天空の街の教会風五月

崖の上に築かれた街オルビエートの教会、世界屈指の美しさといわれる教会のファサードです。



7 長雨に小屋を彩る苔青し

雨に濡れた茅葺き屋根に見惚れる様な彩色が。苔むした古い小屋もなかなか良いもんですね

俳句



オールド スワン ホテル (撮影：千泉)

注：1926年、著名な作家アガサ・クリスティがロンドンの自宅から失踪。その11日後、北イングランド、ハロゲートのこのホテルに隠遁していたのが発見されました。この有名な事件で霞んでいますが、近くのごじんまりとしたホテル、ビーチ（ブナ）ヴィラは、同時代の作家E M フォースターの定宿として知られています。

1 空の木の眼下百万の蟻塚**2 葉桜や校舎にひびくホルンの音**

新学期も始まり放課後の部活にも新人が加わった事でしょう。

3 花冷えに古き建物軒暗し**4 五月晴れ青そら映るタワービル****5 いなか家の窓開くる音夏きざす****6 夏めくやドウモへ列の長いこと**

強い日差しの中、フィレンツエのドウモでは入場者の列が長く続いていました。

7 図書館の座席番する夏帽子

図書館の読書スペースの利用者が増えました。ごめんなさい、場所取りします。

短歌**真夜中に一人占めする露天風呂しみじみ眺む月は動かず 準坊**

人の居ない露天風呂でじっくり月を観る何とも贅沢。

川柳

かいざん

セクハラや改竄通る小さき国 準坊

本来の「おもいやり」や「優しさ」は何処へ。

30年4月「乗り物」(出題者:久芽)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 色々な乗り物 楽しく 拝見しました。

写真俳句の部 投票数: 14**一席 花の路おとぎの国のトラムかな 池福楼 (7票)**

<< 東京で唯一の路面電車荒川線は愛称トーキョー・トラムと言います。>>

- * これは出来過ぎ写真。正におとぎの国。
- * 荒川線はこんなにきれいになっているのですね、懐かしさより、新たな発見です。
- * 桜満開、花のトンネルというグッドタイミング、乗れたら夢のよう、本当におとぎの国ですね。
- * 満開の桜の中を走る電車はおとぎの国を走っているようですね。写真もおとぎの国のようですね。
- * おとぎの国とはいい例えですね。

春空にゆらりと揺れてリフト行く 久芽（6票）

<< お天気の良い日にリフトに乗れるなんて気持ち良い～。>>



- * 明るい春らしい陽差しが感じられます。
- * 写真と句がぴったりですね。
- * 前のリフトはご夫婦でしょうか、いかにも気持ちよさそうな写真ですね。
- * 抜けるような青空がリフトの山頂の眺望を想像させる。
- * のんびりと優雅な、青空への旅ですね。

老一人降ろして発車 春の雲 昼寝覚（4票）

<< 実は写真は秋に撮ったものですが、春ののんびりした雰囲気を出せるかと思い、季語として「春の雲」を使いました。>>



- * この写真でもローカルののんびりとした春を感じます。
- * 雲を乗り物ととらえたところが新鮮でした。
- * この写真の中に入りたい。のんびりと空を仰ぐと「春の雲」。
- * 高齢化や地方の過疎化が進む利島の縮図のよう。

峰近し（順不同）



また一機霞みの中へ戻されて 準坊

<< 真っ青な空の中から日常の世界へ戻される・・・。>>

- * 共感します。ごきげんな休暇から成田へ戻り、翌朝出社時には、「ゆったりとした気分で、ゆったりとした気分で。」っと、言い聞かすものの、丸ノ内線と銀座線で押しつぶされ、押し出され、オフィスに到着後、3分もたずに、目はつりあがり、あの穏やかな休暇はすっかり遠い過去。思い出しました、何十年も前の事を。
- * 飛行機好きでなくとも見ている飽きない離着陸ウォッチングですね。

天窓に幼き春の梢かな 北切雀（4票）

<< 二階建てバスは珍しくないのですが、天窓はこの車両の特徴。座り心地もいい路線バスです。>>



- * ポカポカ陽気の日に、1日じゅ〜う乗ってみたい。このバスに。
- * 気持ち良さそうー。こんな路線バス乗ってみたいです！！
- * おしゃれな路線バスですね。天窓から春を感じられ（幼き春）がいいですね。
- * 快適なバス旅行ですね。鳥のさえずりが聞こえるよう。



さくら散る小さなボート池うかぶ 梵木

- * 下5を「うかぶ池」とするのはいかが？
- * 春の池畔の風景を詠んでのどかな気分に。



花吹雪川奈のカート夢心地 iSAMU

<< ゴルフをおやりの方しか分からないかも知れませんが、日本では「川奈ホテルゴルフ場」でプレーする事に誰もが憧れるものです。しかも桜が咲き誇るなかで、カートに乗ってプレーするなど、歩きが当たり前で、考えられない事でした。3月28日にやってきました。>>

- * 名門ゴルフコースのプレーに心躍る作者の気持ちが伝わる。



5 野焼きの後は白い石が一面に広がる羊群原 千泉

<< 野焼きの後は白い石が一面に広がります。>>

- * 平尾台の石灰岩柱は正に羊に見えますね。
- * 平尾台の地名は聞いていたが本当に羊の群に見える画像に感心。見聞が広がりました。

写真いいね! 推薦者 1名



花の路おとぎの国のトラムかな 池福楼

- * 写真が素敵です。本当におとぎの国から出てきたようなトラムです（MKさん）。



能登号

撮影：久芽

- * 「NO TO GO!」が「能登号」だったとは、、、ちょっとキツイですね。能登へ行こう！って感じを出されたのだと思うけれども、それとも敵は上手で受けを狙っているのか？
- * 英語圏の人間は一見して Not To Go! (行かない！行くな!)、と読んでしまうのをJR東/JR西は計算したか？それはともかくこの夜行列車が廃止となった今、これは貴重な写真。

一席

ブランコや地を蹴り上げて空も蹴り 準坊（7票）

<< 子供の頃は空に翔べとばかりにブランコを漕いだものでしたね。 >>

- * ブランコが春の季語とは知りませんでした。
- * 子供の頃、ブランコって身近にある最高の乗り物でしたよね。固定されているのに本当に空へ飛んで行けそうで、不思議なくらいわくわく感がありましたっけ。
- * ブランコに乗った時の感じが良く出ていると思います。
- * 暖かくなって戸外に遊ぶ子らの黄色い歓声が聞こえてきます。
- * 躍動感があふれる、リズムカルな句です。

佳作

童背にポニーの歩みうらうらと 池福楼（5票）

- * 春の陽光を浴びポニーに乗る子供の笑顔が見えます。
- * 「うらうら」とは、ぴったりの擬態語を選びましたね。
- * 子供とポニー、なんだかほっこりと暖かい春の陽を感じる一句です。
- * 乗っているお子さんに気を遣ってゆっくりと歩んでいるポニーの様子が目に浮かぶようです。
- * ポニーと幼い子供の、のどかな風景です。

たんぽぽにポツリ雨落つバスはまだ 北切雀（4票）

- * 雨支度していない焦りが上手く詠めていますね。
- * シブリアニメのような光景。雨はこの後本降りになりそう。

峰近し（順不同）

水ぬるむ川面に古舟土手つくし 梵木

- * 「水ぬるむ」と「つくし」は季重ねなのが残念。
- * 季語が二つあっても春らしい情景が好きです。
- * 早春の風景がよく表されています。
- * 季重ねではあるが春の風景を唱歌のようにリズムカルに詠んでいます。

青葉見る余裕吹き飛ばレーシングカー 千泉

<< 初めて乗せてもらいこわかったです。 >>

- * テーマパークのものではない、本物にのるダイナミックな体験。

<< 角館の人力車を見て一句。>>

- * 角館へは新緑の候に行った事がありますが桜の時期も良いでしょうね。
- * 東北の春の訪れを賑やかに表しています。

枕木の脇の蒲公英汽車走る 昼寝覚

- * 枕木の脇にタンポポ どんな所でも咲きますね。
- * 蒸気機関車でしょうか？ノスタルジックな風景ですね。

短歌

- * 準坊さんの2作品、思わずこれは私かしら？って思っちゃいました（笑・汗）。

準坊 肩痛で左向きしか寝られずに幸い右に妻眠りをり

<< 顔が見えなくて良かったと言う事では絶対ありませ〜ん！>>

- * 本人は苦痛でしょうがちょっとユーモラスな歌ですね。コメントも可笑的い。

川柳

準坊 階段を一段飛ばす勇氣なし

<< 今では急いでいても慎重に一段一段。手摺りが頼り。>>

- * 若い頃は二段飛ばしもできたのにね。
- * 降りるときは必ず手すりに掴まるようにしてます。

池福楼（乗り物川柳）

やってない両手吊皮握ってる

<< 痴漢冤罪恐怖症 >>

居眠りし寄りかかる肩はずされる

<< へるもんじゃなし〜と思うけど >>

- * そういう問題じゃないです。

俳句

昼寝覚 << この2週間ばかり病院のベッドの上におりましたが、そのとき作った駄句です。
ご意見ご批判などいただけましたら幸いです。>>

咳しゃくり激痛走りて春遠し

トイレにも付き添いがいて春まだき

点滴の彼方の山は春の色

- * 闘病中でも句作されるとは見習いたい心の持ち方。
- * 日本の春の山というのは柔らかで、満開の桜にも劣らない美しさで大好きです。
- * 闘病の三部作は病気療養中の辛い気分と外の景色の対比がわが身の体験のように感じる。
下五の変化が時間の経過と回復の兆しを表していますね。

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 平成30年6月の兼題は準坊さん出題「傘」です。7月は読者のFNさんから「虹または空」と出ています。
- * 平成30年5号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 水無月6月への投稿、皐月5月号作品への投票の締め切りはともに平成30年6月20日です。
- * 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、

写楽句会029(連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2018 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

